

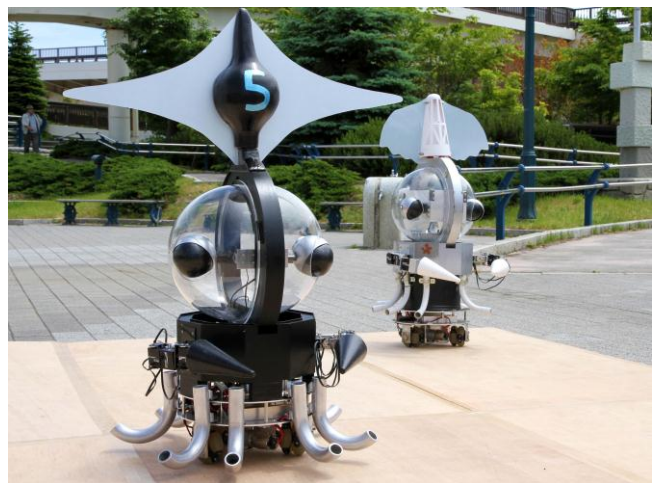
11 IKABO(イカボ)

函館名物・いか踊りを得意とし、日々進化し続けるイカ型ロボット

函館市の魚に指定されている「イカ」をモデルにしたロボットを町の活性化に役立つ新たな観光のシンボルにしようと、製作へ向けたプロジェクトが2005(平成17)年11月に始動しました。1年後に完成した初代IKABOは、高さ2.20m、重さ約200kgの巨大ロボットで、2本の腕がコンピューター制御で駆動。ユニークな振りが特徴の函館いか踊りを見事に演じることから、夏の函館港まつりではすっかり人気者です。1号機の誕生以来、軽量化や性能向上などを念頭に試行錯誤が重ねられていて、次なるヒーローの誕生に期待が高まっています。



問い合わせ先	公立はこだて未来 大学
電話番号	0138-34-6549
FAX番号	0138-34-6564
編成	IKABO1号機、3号機、 5号機
出演時間	応相談
出演料	応相談
備考	出演時間や出演料は 内容により変動します。



タッチパネル機能を備える端末の画面上で、あらかじめプログラムされている動作の中から希望するものを選択。1号機の場合、腕に9カ所ある関節を駆使して上下動し、左右の腕を組み合わせることで、動きのパターンは26万超に上ります。赤と銀色を基調とした見た目にも愛くるしいロボットを思い通りに操れるとあって、イベント出演時には子供たちの長い列ができるほど。ユーモアあふれる動きに一同に笑みが浮かびます。

本物のイカ同様にスケルトンボディのIKABO5号機(左)とIKABO3号機。1機あたりの重さは約20kg、高さは1.05mと1号機に比べてかなりのコンパクト化が図られています。腕の動きはスムーズを増し、床面を縦横無尽に動き回るほか、瞬きをする目、前後に傾く耳など、開発者である学生たちの細部にわたるこだわりが凝縮しています。2011(平成23)年の春にこの2機がそろって以降、ペアでの出演依頼が急増中です。